

- 1 持続可能な開発を実現するために国連が掲げた世界共通の目標を何という？
① IPCC ② SDGs ③ NGO ④ COP ☐ ☐
- 2 環境保全と経済発展の両立を目指し、1992年にブラジルで開かれた会議を何という？
① 生物多様性条約締約国会議 ② 地球サミット ③ 気候変動枠組条約締約国会議 ④ 国連人間環境会議 ☐ ☐
- 3 再生可能エネルギーで発電された電気を、電力会社が一定の価格で一定期間買い取ることを国が義務付けた制度を何という？
① 固定価格買取制度 ② 省エネルギー診断制度 ③ 排出量取引制度 ④ 環境税導入制度 ☐ ☐
- 4 消費者が製品を購入する際に、環境への負荷ができるだけ少ないものを選ぶとする活動を何という？
① 環境アセスメント ② エコマーク ③ リサイクル運動 ④ グリーン購入 ☐ ☐
- 5 将来の世代の利益を損なうことなく、いまの世代の必要を満たす開発のあり方を何という？
① 経済優先の開発 ② 計画的な開発 ③ 持続可能な開発 ④ 緊急的な開発 ☐ ☐
- 6 化石燃料の使用を減らし、温室効果ガスの排出を実質ゼロにしようとする社会を何という？
① 脱炭素社会 ② 省エネルギー ③ 資源リサイクル ④ 公害防止 ☐ ☐
- 7 容器包装や家電など、特定の製品ごとに適切な処理を義務づけた法律を総称して何という？
① 家電リサイクル法 ② 個別リサイクル法 ③ 自動車リサイクル法 ④ 容器包装リサイクル法 ☐ ☐
- 8 京都議定書に続く、すべての国が参加して地球温暖化対策に取り組む現在の国際的な枠組みを何という？
① 京都議定書 ② ワシントン条約 ③ パリ協定 ④ 核拡散防止条約 ☐ ☐
- 9 温室効果ガスの代表例であり、化石燃料を燃やすことで大量に発生する物質を何という？
① メタンガス ② フロンガス ③ 二酸化炭素 ④ 亜酸化窒素 ☐ ☐
- 10 ゴミの発生抑制・再使用・再資源化の三つの取り組みをまとめて何という？
① ESG投資 ② クリーンエネルギー ③ 3R ④ 環境負荷低減 ☐ ☐
- 11 地球温暖化の主な原因であり、その排出量を世界全体で実質ゼロにすることが目指されている物質を何という？
① 温室効果ガス ② 揮発性有機化合物 ③ 微小粒子状物質 ④ 光化学オキシダント ☐ ☐
- 12 温室効果ガスの排出量と吸収量をプラスマイナスゼロにする社会のあり方を何という？
① 情報化社会 ② 循環型社会 ③ 脱炭素社会 ④ 高度経済成長社会 ☐ ☐
- 13 京都議定書に盛り込まれた、国同士で二酸化炭素などの削減量売り買いできる仕組みを何という？
① 環境アセスメント ② 排出量取引 ③ クリーン開発メカニズム ④ 共同実施 ☐ ☐
- 14 資源の有効利用を促進するために、製品の設計や廃棄に関するルールを定めた日本の法律を何という？
① 資源有効利用促進法 ② 特定家庭用機器再商品化法
③ 容器包装リサイクル法 ④ 循環型社会形成推進基本法 ☐ ☐
- 15 廃棄物の発生を抑え、資源を無駄なく利用することで環境負荷を減らす社会の仕組みを何という？
① 持続可能な社会 ② 少子高齢化社会 ③ 循環型社会 ④ 多文化共生社会 ☐ ☐
- 16 3Rのうち、ごみの発生そのものを減らす取り組みを何という？
① リサイクル ② リフューズ ③ リデュース ④ リユース ☐ ☐

